纏人（まといびと）



～2026年春号の一枚～
組合採用ポスターならびに公式Instagramの記念すべき１投稿目となった「消防」を象徴する一枚です

2026 春 spring

旬のトピックス

知っておきたい 映像通報システムLive119

枚方寝屋川消防組合
Hirakata Neyagawa Fire Department



枚方寝屋川消防組合

活躍する職員

総務部　人材マネジメント課

中野　祐(36)

消防を志したきっかけを教えてください。

就職を考え始めた頃は、両親が教師ということもあって、「俺も教師になろうかな～」って考えていました。しかし、教師になるイメージを持てないまま、何となく教員免許を取る授業を受けていました。

そんな中、大学 2 回生の頃に東日本大震災が起りました。目に映る映像はショッキングなものばかりでしたが、その中でオレンジ色の服を着た消防士はとても立派に見えたのと同時に、むかし母親に「たすくは消防士がいいね」と言われたのをふと思い出して「そうだ、消防士になろう。」と思ったのがきっかけです。

現在の業務内容や課内での役割を教えてください。

所属する人材マネジメント課では、主に採用や表彰など、職員の人事関係に関する業務に携わっています。今年から 2 年目で、まだまだ皆さんに助けてもらうことも多いですが、いろんな経験をさせていただいてます！

特に、多くの職員の方に対して業務や庶務事務申請などのことでお話しする機会が多いことは、職員一人一人を知ることができるという意味でも、とても価値あることだと感じています。

私自身、話しやすく親しみやすい「顔」と言ってもらえることがあるので、その特性を活かして多くの職員に寄り添える人間でありたいと思っていますし、それが私の人材マネジメント課にいる役割の一つだとも思っています。

なので、皆さん！今回のこの纏人を期に私の顔と名前を覚えてくれたら嬉しく思います!!



～ただメモを持つだけで笑いが生まれる一枚～
「仕事の指導だけでなく、明るい人柄で周囲を楽しませていただける存在です」と部下は語る

人材マネジメント課に来てから「視野が広がった」と思う部分はありますか？

多くの職員が自分の役割に対して全力で取り組み、枚方寝屋川消防組合や市民のために尽くしているのを肌で感じることができたのは、とても視野が広がったと感じています。交替制で働いている時は、日勤の方がどんな仕事をしているかあまり分かりませんでした。

しかし、今では、どの部署でも自分の役割に対して全力で取り組んいる方が多いと痛感しましたし、もちろん、交替制で働いている職員の方に対しても、さらにそう思うようになりました。

それらのことから、私たち消防士は、様々な役割を通して人命救助を行っていると、頭だけでなく心で理解することができたように思います。

～消防職員意見発表会について～

発表会を迎えるまでの心境や、当日の心境はどうでしたか？

正直、この意見発表会に出場させてもらえることは私にとってはご褒美みたいなものでした。笑

だって、枚方総合文化芸術センターのステージでやらせてもらえるなんて、ものすごく貴重で素晴らしい体験です！総務部の代表として選ばれた時は、まずそのことが素直に嬉しかったです。

もちろん、仕事をしながら発表の内容を考えることは楽な作業ではありませんでしたが、多くの方に支えられて、私一人ではなく、チーム一丸となって最高のものができたと思っています！

そして、当日はかなり緊張しましたが、「大人になってもこんなに緊張することができるなんて最高だ」というウキウキした気持ちもあったので、ほんとに私にとってはご褒美でした。笑（ちなみにですが、何でもかんでも緊張することならやってみたい！という訳ではありません！）



～真剣な表情でレジリエンスを伝える中野係長～

本消防組合の意見発表会は本当にレベルが高くて、その中で代表になれたので、全国大会まで行きたい！と本気で思っており、そのために準備を重ねてきました。大阪府下大会では思うような結果を残すことができずに、ほんとに悔しくてすぐには気持ちを切り替えることができませんでしたが、自分の力は出し切れたと、胸を張って言えるので、そこは自分を褒めてあげたいと思っています。

「レジリエンス」がテーマの発表でしたが、なぜこのテーマを選んだのですか？

初めに思いついたテーマは今回のレジリエンスとは全く異なるもので、自分で話していても「あれ？これはなんか違うぞ？」となにか引っ掛かるものがありました。そこで、もう一度「本当に自分が言いたいことってなんだろう？」と考えて頭をまっさらにして考え直しました。

聴衆の心に届くものは何か？と考えている時、ふと、父親が大好きな『鬼平犯科帳』（歴史小説で簡単に言うと人情話です。）の鬼平（この小説の主人公）のことが頭に浮かびました。



テレビドラマ化のみならず、映画、漫画、アニメ化などされている「鬼平犯科帳」シリーズ

引用：アニメ「鬼平」公式サイト

父はこの小説を通して「本当に強い人は人情深い優しさを持ってる」ということを何度も言っており、私の脳内で次のような思考回路が作られました。「鬼平→強い→強さとは優しさ→人情深い→人情深いとは受け入れる懐がある→受け入れるとはレジリエンス」ざっくり言うと、こんな感じのマジカルバナナ的思考回路でレジリエンスにたどり着き、自分の体験談も踏まえて内容を作りました。(20代以下の職員は「マジカルバナナ」って知ってますか？笑)

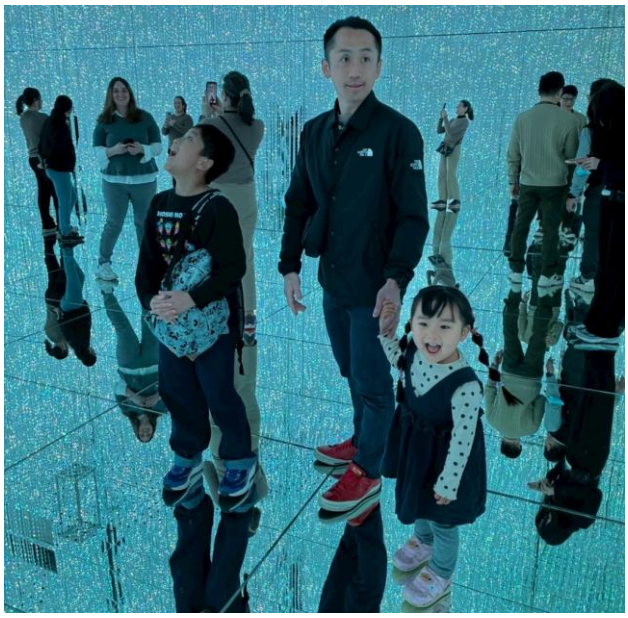
そんなこんなでレジリエンスをテーマにした内容が出来上がりました。改めて、説明させていただきますと、レジリエンスとは「ストレスや困難に打ち勝つ強さではなく、受け入れて適応し回復する力」のことです。

人間誰でも悩むしストレスも溜まります。その中で、もちろん、仲間や家族の支えは大きな力になりますが、最終的には自分の力で立ち直らなければ根本解決にはならないと考えています。今回の意見発表会で「レジリエンス」のことを初めて知った職員の方も多いと思いますが、このストレス社会を生きていく上ではとても重要な考え方なので、是非とも、多くの人に身に付けてもらいたいと願っています！

～プライベートについて～

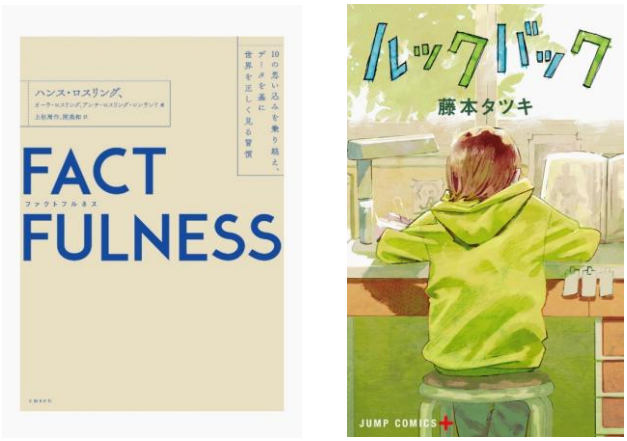
休みの日の過ごし方を教えてください。

休みの日はほとんど家族で過ごすことが多いです。平日が仕事ばかりなので、休日に家族と過ごせるのはとても癒されます。奥さんがいろんなイベント情報を集めて企画してくれるので、外に出かけることが多いです。最近、行ったのですごくおもしろかったのは、「チームラボ京都」のアートミュージアムはとても感動しました。



休みの日は全力でパパしています！

あとは、読書したり漫画を読むことが好きです。小説だったら疑似体験できますし、自己啓発本などは自分が知らなかった考えに触れることができます。特に漫画は、私にとっては教科書ともいえる存在で、多くのことを漫画から学んだと言っても過言ではありません。ちなみに、好きな本は『ファクトフルネス』好きなマンガは『ルックバック』です。この2つはとてもおすすめです！



引用：日経 BOOKPLUS(FACT FULNES)集英社(ルックバック)

仕事以外で、
今一番熱中しているものはありますか？

私は「面白そうかも！」と思ったものは、できるだけ挑戦するようにしています。社会人になってから柔道を始めて黒帯を取ったり、ポケモンカードで公式戦に出てみたいと思って猛練習して公式戦に出場したりもしました。とりあえず何かエントリーして結果が出るものに挑戦するのが好きですし、まだ未経験のものに取り組むことも好きです！だから常に、できそうなことがないかを探しています。

最近、興味があるのは「R-1 グランプリ」や「のど自慢大会」に出てみたいという願望があります。（笑）

そういう意味では、自分の好奇心がいつまで持続するか？ということに熱中しているかもしれません。ひとまず直近では、GW に息子と自転車で琵琶湖を一周することと夏に富士山に登る予定です。また、2027 年は大阪マラソンやワールドマスターズゲーム 2027 関西に出ることが楽しみです！

～自己成長・キャリアについて～

日ごろ行ってる自己研鑽はありますか？

毎日、少しでも体を鍛えることや本やニュースに目を向けること、何かにチャレンジすることを心がけています。私は健康寿命を 100 歳以上！という目標があります。

その理由は、運動も遊びも出来るだけ長く好きなことをやりたいという願望があるからです。そのためには、日々の積み重ねが大事だと思っており、身体も知能も感性も小さなことでも刺激を与え続けることが、長い健康寿命を維持する秘訣だと信じています。（科学的に根拠があるかは知りません笑）だから、学ぶ姿勢を持つことや新しいことにチャレンジすること、緊張すること、成功して嬉しいことだけでなく失敗して恥をかくことも自分の将来のためになると思うようにしています。



毎日欠かさないのは「黒酢」と中野係長は熱く語る

今だから話せる失敗はありますか？

機関員として勤務している日に、運転中に車に傷をつけてしまいそうになった時がありました。帰所後も、私は車両のことは全く気にせず、車両の様子を確認しようともせずに事務所でゆっくりくつろいでいたのです。そんな私に対し、上司が自分の仕事に責任を持つようにと、厳しく叱ってくれたことがありました。

普段、あまり怒らない方だったので、私は「本当にいい加減なことをしてしまった」と大きな後悔と反省で押しつぶされそうになりました。

そのことを思い出すと、今でも身が引き締まりますし、自分の仕事にはしっかり責任を持たなくちゃいけないと再認識できます。今の業務でも自分の仕事をしっかり全うできないこともありますが、いい加減な気持ちでは絶対にしないようにと自分には言い聞かせています。

感銘を受けた言葉や、
座右の銘はありますか？

私は2つの考え方を大切にしています。

1つ目は、**「すぐに役立つものはすぐに役立たなくなる」**というものです。

この言葉に出会ったのは、灘中学・高校で 50 年

以上教壇に立ち、多くの優秀な人材を育て続けた橋本武先生の『一生役立つ学ぶ力』という本を読んだ時です。例えば、テストの一夜漬けというものはとても役に立ちますが、すぐに忘れてしまいます。

一方、時間をかけて自分で考え、導き出した答えや会得した知恵というものは、なかなか忘れることはなく長い間、自分の役に立ち続けます。現代社会はすぐ役立つものに溢れています。もちろん、それを使うべきだとも思いますし、私は AI とか流行りの物も大好きです。しかし、自分の中で大切にしたいものは思いを巡らせて時間をかけるべきです。それは勉強や仕事だけでなく大切な人への愛情や人間関係、趣味などすべてのことに共通することだと信じています。

2つ目は、**「自分がやってる単純作業はいつか誰かの役に立つかもしれない」**というものです。

私は 20 年以上 Mr.Children のファンで曲はほぼ毎日聴いてます。そんな大好きなミスチルの作品に「彩り」という歌があるのですが、この曲の一説に「私のした単純作業がこの世界を回りまわってどこの誰かも知らない人の笑い声を作っていく」というフレーズがあります。



消防の仕事は、災害活動以外の日常業務は、単純作業も多く、なかなか目に見える成果は表れにくいです。しかし、この曲にもあるように、その単純作業はどんな小さなものでも、何らかの形で誰かの役に立つ日がくるかもしれせん。そう考えたら、自分がやっている仕事も価値があるものだと感じれますし、どんな作業でも真摯に向き合わなければならないと思えるんです。

最後に、職員に向けた熱いメッセージをお願いします!!

今回の特集を通して、私のことを前向きな職員だと思ってくれた方もいるかもしれませんが、私はちょっとしたことで落ち込みますし、うだうだと悩むことも多いです(笑)

しかし、元気づけてくれる家族、職場の同僚や先輩上司から立ち直るきっかけをたくさんもらってきたことで、今も元気に働けています。そんな人たちのために、これからもいろんなことに挑戦してみなさんにネタを提供できる人になれるように頑張りたいと思いますので、少しでも私に興味を持っていただければ嬉しく思います！

人材マネジメント課からの 推し! メッセージ

中野係長とは同期でありながら、令和７年４月から初めて同じ職場で勤務することになりました。まさか同じ部署で、しかも直属の上司という立場で関わるとは思っておらず、正直少し不思議な感じもしています。

中野係長は以前から「人材マネジメント課で働きたい」「採用に関わりたい」とよく話しており、その想いを実現させた行動力はさすがだなと感じています。現在は人事担当として、採用や人事、表彰、労務管理など幅広い業務を担当していますが、どの業務にも前向きに、そして丁寧に取り組んでいる姿が印象的です。

特に採用業務では、受験者対応や説明会での雰囲気づくりが抜群で、明るく親しみやすい対応は見ていて安心感がありますし、以前までは私がこのポジションを担当していたのですが「この人がいるなら大丈夫」と自然と思わせてくれる存在です。

また、昨年実施された枚方寝屋川消防職員意見発表会では最優秀賞を受賞し、大阪府下大会でも入賞というすばらしい結果を残しました。忙しい業

務の中でもコツコツと練習を積み重ねる姿は本当に印象的で、その姿が周囲の心を動かし、多くの支援や助言を引き寄せていました。さらにそのアドバイスを素直に取り入れながら成長していく姿は、同期としても本当に良い刺激をもらいましたし、そのひたむきさが結果につながったのだと思います。

　職場でも自然と周囲を明るくする雰囲気を持っていて、気づけば場の空気を和ませてくれる存在です。そういうところも含めて、総務部には欠かせない一人だと感じています。

　これから先、さらに経験を重ねていく中で、今の強みである「明るさ」と「ひたむきさ」に加えて、視野の広さや調整力といった部分もどんどん磨かれていくと思います。同期としても、その成長を間近で見られるのは楽しみでもありますし、とても頼もしく感じています。これからも中野係長らしく、一歩一歩着実に力を伸ばしながら、組織を引っ張っていく存在になってくれることを期待しています。

（人材マネジメント課課長補佐兼同期　前田 優介）

令和７年度 大阪府消防表彰式



人材マネジメント課

令和８年３月 14 日（土）、エル・おおさかにて令和７年度大阪府消防表彰式が執り行われました。この表彰式は、大阪府内の消防本部や消防団等に対し、その功績が多大な個人や団体を讃えるもので、本消防組合からは、消防庁長官表彰３名、大阪府知事表彰５名・１事業所が受賞されました。



消防庁長官表彰 永年勤続功労章

消防庁長官表彰永年勤続功労章とは、25 年以上にわたり域の安全を支え続けてきた功績を称えるもので、消防に関する表彰としては勲章・褒章などの栄典に準じ、最も栄誉あるもののひとつです。本消防組合からは、三橋予防部長、清水枚方東消防署長、太田枚方消防署長の３名が受賞されました。（太田署長は公務により欠席）

大阪府知事表彰 消防勤続功労章　一般消防功労者表彰

大阪府知事表彰の消防勤続功労章は中西予防部次長、多田枚方消防署副署長、中村課長（枚方３部）、椿山課長（枚方東２部）、北田課長（寝屋川３部）の５名が受賞され、（多田副署長、中村課長にあっては公務により欠席）、一般消防功労者表彰には、寝屋川市の株式会社ニューコマンダーホテルが受賞されました。





中：株式会社ニューコマンダーホテル　堀田氏

右：寝屋川市消防団　中谷団長

受賞された皆様、おめでとうございます！

旬のトピックス

知っておきたい

映像通報システム Live119



警防部　情報指令課

■　はじめに

令和8年4月1日から本格運用が開始した映像通報システムの Live119（試験運用は１月28日～）について、消防職員として改めて知っておきたい知識をまとめました。

Live119 の概要をはじめ、通報者側の操作方法や、指令センター側の見え方など、実際の画面の様子を紹介します。

訓練指導などの場で質問を受けた際、的確に答えられるよう、改めて確認しておきましょう！

■　映像通報システムとの違い

「Live119」と「映像通報システム」の違いは、特定の製品名（商標）とシステムの総称（一般名称）の違いです。Live119 は、本組合が契約する株式会社ドーンの登録商標になります。他の映像通報システムには「Smart119」（千葉県）にも類似の機能があります。

■　Live119 のシェアについて

2025年8月の段階で全国の人口カバー率は50%を超えたとの発表がありましたが、大都市の消防本部が中心で、指令センター単位でみると、全国的にも先行した取り組みとなります。

■　Live119でできること

①　**映像通報**

火災や事故、救急などの通報現場の映像を指令センターに送ることができます。



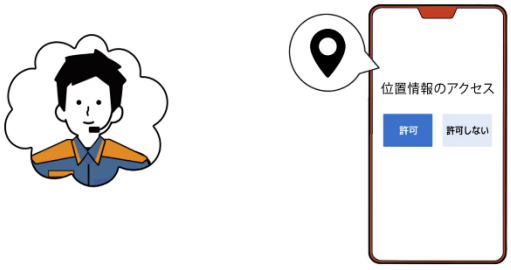
②応急手当のサポート

指令センターから通報者に応急手当（胸骨圧迫等）の映像を送ることができます。



③位置情報の取得

GPS を利用した正確な位置情報の送信ができます。



■ live119 の使用方法(スクリーンショット)

① ショートメールを受け取る



② ショートメールの URL をタップ



③ 「ビデオ撮影のお願い」に同意



④ 位置情報の提供を許可



⑤ カメラへのアクセスを許可



⑥ 撮影が始まる



■ **Live119 の機能**

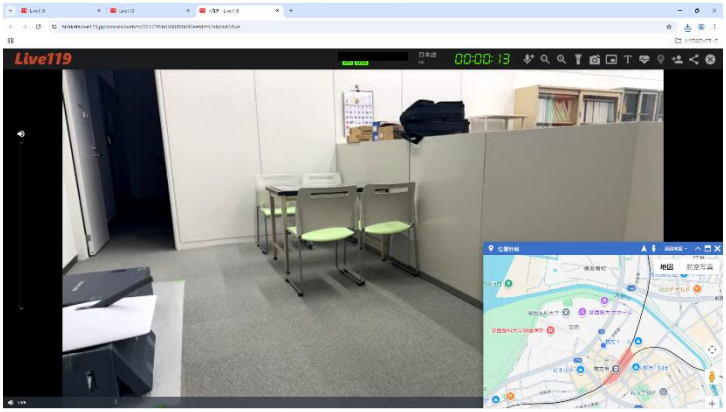
応急手当の送信映像のようす

（通報者側）



●映像通報と位置送信のようす

（指令センター側）



通常の119番通報でも位置情報の取得は可能ですが、より正確な位置情報を収集することができます。

■ **運用開始後からの Live119 の奏功事例紹介**

Case.1

通行人の女性からの救急要請で、70歳代の男性が路上で倒れているとの通報内容であった。指令管制員は通報者に対し意識状態と呼吸状態を確認するよう指示したところ、呼び掛けに反応がなく、呼吸状態にあっては、呼吸しているかわからないとの返答があった。

Live119 に切り替えると、呼吸状態を確認、胸腹部の動きがないことが分かり、胸骨圧迫の口頭指導を実施した。

Case.2

母親からの救急要請で、息子（2 歳男の子）が 2 日前から発熱症状があり、通報の2分前から身体の震えが止まらず、呼び掛けても反応がないとの通報内容であった。指令管制員は熱性痙攣とCPA状態なのか判別を行うため、Live119 に切り替えると、意識状態と呼吸状態を確認、痙攣様の症状を認めたため熱性痙攣と判断することができた。なお、通報者には刺激を与えず、気道を確保するよう口頭指導を実施した。

Case.3

自宅にいる妻からの救急要請で、山林で夫が転倒し、足を負傷して動けなくなり、どの場所で転倒し動けなくなったか詳細な場所はわかないとの通報内容であった。通報者の妻から夫の連絡先を聴取し、Live119を活用して、傷病者の容態、詳細な位置情報を特定することができた。

Case.4

火災事案において、通行人からの通報で、家人が2階ベランダに避難していると聴取。指令センターは通行人に協力を求めれば、延焼状況と避難状況を確認できると判断。2階ベランダにいる要救助者の状況を確認した後、正確に支援情報を伝え、先着消防小隊により迅速に要救助者を救出することが出来た。

■ **Live119に関するよくある質問**

編集部

事前のアプリダウンロードは必要ですか？

情報指令課

不要です。ウェブブラウザ上で操作することができます。

編集部

通信料はかかりますか？

情報指令課

かかります。通報者側での負担に協力いただける旨の了解を得て、URL が送信されます。

編集部

すべての災害でも利用しますか？

情報指令課

すべての災害で利用するわけではありません。通報内容から指令センター職員が判断した場合に限り、通報者へ協力の依頼をします。

編集部

指令センターから送信された URL は何度でも利用できますか？

情報指令課

一定時間が経過すると URL は無効になり利用できなくなります。

編集部

聴覚・言語障がいがある人でも使用できますか？

情報指令課

聴覚・言語障害がある方は、Live119 ではなく NET119 のご登録をお願いします。利用には、事前登録が必要になります。詳しくは消防組合公式ホームページに記載しています。

■ Live119の今後の展望について

Live119 を導入し、従来の音声のみの通報と比較し、映像を通じて現場の状況を的確に把握できることから、より迅速かつ適切な支援情報の提供や、応急手当の具体的な指導が可能となりました。

また、心肺蘇生などの応急手当が必要な場面においては、的確な口頭指導と映像伝送とのメリットを掛け合わせることで応急手当に対する心理的ハードルが下がる効果も期待しています。

しかしながら、まだまだ市民の皆様の認知度は決して高いものとは言えないと考えています。いざという時に円滑に活用していただけるよう、各種イベントを通じて周知してまいりたいと考えています。

情報指令課では、今後も最新の技術を活用しながら、「安全・安心を実感できるまちづくり～ともにつくる～」を目指してまいります。

■ YouTube ショート動画の制作

令和 7 年度の広報プロジェクトメンバーの麻生主任、加藤主任、杉本係員がショート動画を作成し、公式 YouTube に公開しました。動画への出演には情報指令課3部の皆様にご協力をいただきました。ぜひご覧ください！





ショート動画の視聴はこちら

資機材紹介

心臓マッサージシステム LUCAS® 3 を導入しました



警防部　救急課

■ はじめに

令和7年度更新車両の寝屋川救急1に組合初となる、自動心臓マッサージ器の「LUCAS 3」が導入されました。

本コーナーでは、導入の経緯や、使用方法や注意点などを救急課の資機材担当にお伺いしました。



メーカー使用イメージ



頑丈なキャリングケースで携行する

編集部

導入に至った経緯を教えてください。

救急課

以前から、現場の救急小隊より、救急に関するレポート（旧 救急に関する研究）などを通して、導入を求める声が多く寄せられていました。

本部機動救急隊にてデモ機による検証を行い、次の 3 点を主な目的として導入を決定しました。

活動環境への適応

狭隘な通路・階段での搬送中も、絶え間なく質の高い胸骨圧迫を継続するため

感染防止対策

日本臨床救急医学会の提言に基づき、心肺蘇生時の救急隊員の感染リスクを低減するため

隊員の負担軽減

長時間の活動やマンパワー不足時における、隊員の身体的・精神的サポートのため

編集部

数ある機種の中から、LUCAS3 を選んだ理由を教えてください

救急課

導入にあたる検証では、今回導入した LUCAS3（日本ストライカー株式会社）だけでなく、Clover3000（コーケンメディカル株式会社）や、cprpuls cpr（栄和産業株式会社）の機器をお借りし、検証しました。

そのなかでも、LUCAS3は、装着の容易さ、胸骨圧迫の深度調整の精密さ、吸着カップによる圧迫解除の補助などの利点が他の機器より優れているため、こちらを選定しました。

編集部

使用方法について教えてください

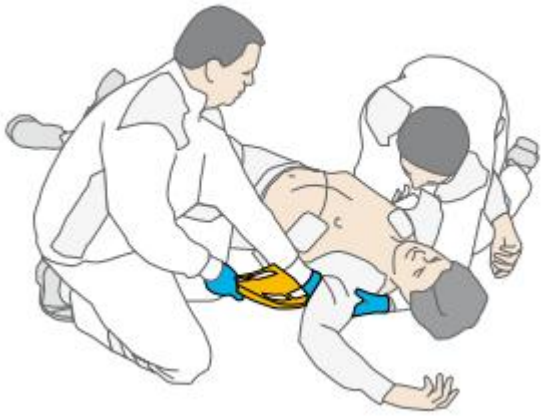
救急課

基本的な流れは以下の5ステップです。

①本体の電源を入れる



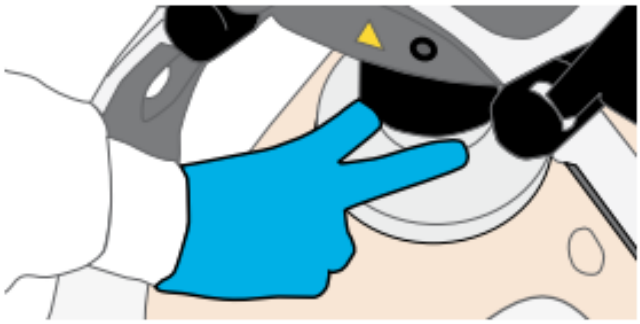
②バックプレートを傷病者の背中に配置する



③上部ユニット(本体)をバックプレートに取り付ける



④「1」ボタンを押し、吸着カップを胸骨端に調節する



⑤自動調整の「2」ボタンを押し、開始の「3」ボタンを押す



以上の手順で、使用することができます。

ただし、適切かつスムーズに使用するにあたっては、一定の訓練が必要になりますので、配備した寝屋川救急小隊には事前にしっかりと訓練してもらうよう伝えています。

編集部

使用するうえで、注意することはありますか？

救急課

傷病者に機械を取り付け、胸郭が大きく沈む処置を行うことは、傷病者の家族の心に大きな動揺を与えます。常時、良質な胸骨圧迫を行えることは大きな利点ですが、**必ず、使用する際には傷病者の家族への丁寧な説明を行うようにしてください。**

また、普段の活動でも当然のことですが、機器使用中の継続観察も重要です。圧迫位置のズレや深さなどに問題はないか、人の手で行わない分、このあたりの観察は、今以上に慎重に行うようにしてください。

適切に使用することで、胸骨圧迫の質の向上や特定行為などの処置に必要なマンパワーを確保することができるので、ぜひ有効活用してもらいたいと思います。

編集部

自動心臓マッサージ器は今後すべての隊に導入されるのでしょうか？

救急課

今回は、先行導入として寝屋川救急小隊のみに配備しましたが、今後は活動実績や検証結果を踏まえ、全隊への標準装備を目指して、順次予算要求を進めていく予定です。

編集部

PA 連携時など救急担当以外でも装着・使用してもいいですか？

救急課

救急担当以外でも装着・使用可能です。ただし、圧迫位置や固定などに注意してください。救命率向上のためにも、普段から救急担当と取り扱いについて訓練を積み重ねていただきたいと思います。

編集部

体格の小さな子どもや、体格が大きい傷病者には使用できますか？

救急課

適応範囲があり、胸郭の厚さ 17cmから 30.3cm 最大胸郭幅 44.9cmとなっています。

■ 救急課資機材担当から

日頃、皆様には救急活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

今回、自動心臓マッサージ器の導入に至ったことは、現場の声の重要性を物語っており、その声を反映出来たことに喜びと救急課での仕事のやりがいを感じます。

今後も救急隊と対話しながら、必要な資器材や訓練を計画し、より良い現場活動を展開できるよう救急課一同尽力してまいります。

引用元

・画像・使用方法

日本ストライカー株式会社

LUCAS3.1 製品カタログ

https://www.stryker.com/content/dam/stryker/ems/resources/japan/lucas-3/LUCAS_3.1_製品カタログ_LUCAS-012-F.pdf



編集長だより

広報戦略官　森 真彦

枚方寝屋川消防組合広報規程では、消防本部に広報戦略官を置くことが規定され、広報戦略官は企画戦略課長の職にある者とされています。

今年度から纏人の記事の内容がマイナーチェンジされ、私が広報戦略官として記事を書く「編集長だより」というコーナーを作っていただきました。

このコーナーでは、私の目線から見た消防組合の「今」とこれから目指す方向性などをできるだけ自分の言葉で伝えていきたいと思います。

1　新年度がスタート

令和８年度がスタートして１か月が経ちます。おそらくどの部署も４月は人事異動もあり、まだまだ地に足がついていない状態だと思います。

企画戦略課では毎年度この時期は新年度予算に関する契約ラッシュでバタバタした日々を過ごしています。

今年度は令和 12 年度までの５年間を計画期間とする第５次将来構想計画後期事業計画の初年度となり、計画に基づいて各事業を進めていく年となります。

春号では、今年度の企画戦略課の取組目標についてお伝えします。

2　各事業の着実な推進

まず、今年度前半は、令和５年度から７年度までの前期事業計画期間中における各事業の実績について総括をします。

また、引き続き、将来構想計画の各事業を推進するために、複数の課のメンバーで構成される事業推進委員会で検討を行っていきます。

「防火・防災対策検討委員会」では、住宅用火災警報器の設置率と感震ブレーカーの認知度アップが主なテーマとなります。

「消防防災体制検討委員会」では、司令塔機能、指揮体制の充実強化が主なテーマとなります。

「救急医療体制推進委員会」では、ドクターカー運用体制の見直し、救急需要対策が主なテーマとなります。

今年度からはさらに「新しい消防技術検討委員会」「魅力創造委員会」の２つの委員会を立ちあげました。今年度も各委員会での議論を深め、着実に事業を前に進めるために全力を注ぎます。

3　持続可能な行財政運営

消防組合の最上位計画である将来構想計画は「総合計画」、その他の計画は「個別計画」と位置付けられます。

３月には将来構想計画 後期事業計画とともに、個別計画である「消防力整備計画」、「消防車両更新計画」、「個別施設計画」、「職場環境整備計画」を策定しました。

これらの計画の策定とともに、持続可能な行財政運営の指標とするための「財政収支計画」を策定し、後期事業計画期間中の財政見通しを示すことができました。

今後はこれらの計画をベースとして、予算編成を進めていくことになります。

また、消防組合では令和５年に DX 戦略を策定し、ロードマップに従って各種取組を進めてきましたが、時代の変化のスピードは速く、生成 AI の利活用など新たな課題が出てきています。

私は、DX の推進は組織力を高める一つの要素と信じています。

新たに整備された DX 推進体制で、全庁的なデジタル時代の組織への変革にむけて様々な取り組みを進めます。

４　魅力的で選ばれる組織づくり

令和８年度から「職場環境整備計画」に基づき、LED 化、仮眠室個室化、トイレ洋式化や署所のリフォームなどを進めていきます。

また、消防組合の競争優位性を高め、魅力的で選ばれる組織となるための新たな制度や取り組みなどを検討するために、「魅力創造委員会」を設置しました。

この委員会では、①この職場で働いてよかったと思える組織を創る（職員のエンゲージメント高める）、②これから本消防組合で働きたいと思える組織を創る（採用試験における競争優位性を高める）ことを目指してソフト面・ハード面で様々な検討を行っていきます。

人材確保と人材育成の推進については、「広報戦略」においても重点的テーマに掲げています。今年度から運用を開始した Instagram なども活用し、組織の魅力について積極的に発信していきます。

５　目標達成に向けて

繰り返しになりますが、令和８年度は様々な計画を実現していく１年になります。どれだけいい計画を作り上げても、実現できなければ絵に描いた餅になります。

各部署の皆さんとしっかりコミュニケーションを取りながら、実現に向けて一つ一つしっかりと前へ進めていきたいと思います。

1　市民・事業所の防火・防災意識の高揚と自助・共助の醸成

事業推進委員会（防火・防災対策検討委員会）

関係課	警防課、予防指導課、保安対策課、企画戦略課
検討事項	・地域防災力の強化について ・住宅防火防災対策について ・火災原因調査について

3　市民生活に安心感を与えるための救急医療体制の推進

事業推進委員会（救急医療体制推進委員会）

関係課	人材マネジメント課、救急課、企画戦略課
検討事項	・救急需要対策について ・救命講習について ・ドクターカーについて

2　あらゆる災害から市民を守るための消防防災体制の強化



事業推進委員会（消防防災体制検討委員会）

関係課	人材ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ課、警防課、情報指令課、企画戦略課
検討事項	・訓練施設に関する事項 ・消防車両及び資機材に関する事項 ・今後の警防体制に関する事項

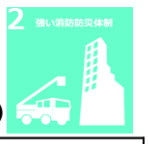
4　ＩＣＴを活用したスマートな消防行政の構築（DX戦略）

【新設】枚方寝屋川消防組合DX推進本部を軸とする推進体制

4　ＩＣＴを活用したスマートな消防行政の構築（広報戦略）

広報戦略会議、広報プロジェクトチームを軸とする推進体制

2　あらゆる災害から市民を守るための消防防災体制の強化



【新設】事業推進委員会（新しい消防技術検討委員会）

関係課	総務管理課、警防課、企画戦略課
検討事項	新技術や技術改良を活用した安全管理及び災害対応能力の向上に関する事項

5　すべての職員が活躍できる魅力あふれる職場環境の整備



【新設】事業推進委員会（魅力創造委員会）

関係課	人材ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ課、総務管理課、企画戦略課
検討事項	・職員提案審査制度 ・職場環境の整備

消防組合議会の動き

令和８年第１回枚方寝屋川消防組合議会定例会

総務管理課

令和８年３月 31 日（火）、令和８年第１回定例会が開催されました。



議案

令和７年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第３号）

「令和７年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第３号）」案が原案のとおり可決されました。

退職手当の増額に伴う人件費の増額をはじめ、工事請負及び消防車両購入に係る契約金額確定等に伴う減額、長期債利子及び繰越金の精算などを合わせ、増額補正をするものです。

あわせて、消防車両等整備事業及び大阪府衛星無線等再整備事業の予算を繰越明許費として翌年度に繰り越すものです。

令和８年度枚方寝屋川消防組合予算

「令和７年度枚方寝屋川消防組合予算」案が原案のとおり可決されました。

「安全・安心を実感できるまち～ともにつくる～」の実現に向けて、防火・防災対策の推進、消防防災体制の充実強化、救急医療体制の推進などに取り組んでいくための予算編成を行うものです。



連合市民の会
枚方市議会議員団
奥野　美佳　議員

質　問　要　旨（１回目）

構成両市からの負担金の算出方法について伺う。特に経常経費については、均等割、世帯割、人口割により按分比率を算出されているが、算出の考え方と前年度からの増減理由について説明を求める。また、特別経費について、令和８年度における主な充当内容について伺う。

答　弁

経常経費については、令和７年９月末現在の両市の世帯数及び人口を基礎数値として、均等割 100 分の 15、世帯割 100 分の 40、人口割 100 分の 45 の割合により按分比率を算出している。

令和８年度の両市負担金の按分比率は前年度比で 0.0513%の増減となっており、この要因は、両市における人口比率及び世帯比率の差の拡がりによるものである。

次に、特別経費については、公債費として枚方市 142,210 千円、寝屋川市 97,168 千円、ドクターカー負担金として枚方市 38,199 千円、寝屋川市 24,790 千円、消防団活動経費として枚方市 970 千円、寝屋川市 424 千円を計上している。また、枚方消防署新庁舎整備に係る民間活力導入可能性調査及び基本計画策定業務委託料 33,351 千円、寝屋川消防署西出張所用地賃借料 468 千円をそれぞれの市の単独の経費として計上している。

質　問（２回目）

枚方消防署の移転に係る新庁舎整備について、基本計画の作成と同時に民間活力導入可能性調査

を実施し、従来方式、DB 方式、PFI 方式を比較検討するとされている。基本構想策定後の段階で、基本計画と同時に民間活力導入可能性調査を実施する理由について伺う。

また、これまで消防組合において同様の調査を実施した事例があるのか、今回新たに実施する理由について伺う。

さらに、現時点で特定の事業方式を想定しているのか、それともあくまで選択肢の一つとして検討するものなのか、見解を伺う。

加えて、本事業では枚方市の PPP／PFI 手法活用指針を準用するとのことだが、寝屋川市に同様の指針があるのか伺う。

また、内閣府の民間資金等活用事業調査費補助金の活用が見込まれているが、補助金活用により事業方式の選択が制約されることはないのか、伺う。

さらに、近年の建設コスト上昇等により PFI 事業の成立が困難となる事例も見られるが、こうした状況下で調査を実施することのリスクについてどのように認識しているのか、見解を伺う。

答　弁

民間活力導入可能性調査は、枚方消防署新庁舎の整備や運営に民間企業のノウハウを活用し、効率的・効果的なサービス提供やコスト削減につながるかを検討する調査であり、今後の事業方式やスケジュールの検討とあわせて、基本計画の策定を委託していくものである。

同調査については、消防庁舎建設事業が枚方市「PPP／PFI 手法活用 優先的検討の基本方針」の実施基準に合致することから準用するもので、本消防組合ではこれまで実施した事例はない。

現時点で想定している事業方式はなく、今後、最適な手法を検討していく。

枚方市と同様の指針について、寝屋川市では定めていないと聞いている。

内閣府の民間資金等活用事業調査費補助金の対象事業については、主なものとして、公共施設整備での財政削減効果や地域経済・社会への貢献など多様な効果が見込まれることが条件となっている。

調査を実施していくうえで、議員ご指摘のとおり、実現可能性や経費などのリスクも含めて検討していく。

要　望

枚方消防署の庁舎は老朽化が進んでおり、災害対応拠点としての機能確保の観点からも早期整備は喫緊の課題である。消防署は市民の生命と財産を守る最前線の拠点であり、最も重要なことは確実に整備を進めることである。

また、消防救急体制の適正配置の観点から、地域の安全水準を低下させないための体制確保は不可欠であり、出張所整備などの対応についても、新庁舎整備と一体的に、遅れを生じさせることなく確実に実施されるよう強く求めておく。

PFI や DBO 方式では設計・建設・維持管理等を一括発注することにより事業内容が多角化し、事業主体の構成が複雑となるほか、契約期間の長期化に伴う物価変動等のリスク対応も難しくなる。こうした構造的な課題は、事業者の参画意欲の低下や適切な価格競争の阻害につながる可能性がある。

特に近年は資材価格の高騰や人件費の上昇、金利環境の変化などにより、PFI 事業において入札不調となる事例も多く見られることから、事業の確実性の観点からは慎重な判断が求められる。このような点を踏まえると、設計・工事・庁舎管理業務を分離して発注する従来方式の方が、リスク分散や競争性確保の面で合理的なのではないか。

補助金を活用した可能性調査を実施すること自体は理解するが、調査を実施したことにより事業手法が縛られることはあってはならず、整備の遅れにつながるような事態は避けるべきである。

また、枚方市の PPP／PFI 手法活用指針を準用するとのことだが、当該指針に過度にとらわれることなく、事業の特性や現在の社会経済状況を踏まえ、最も適切で実現可能性の高い事業手法を主体的に選択するよう強く求める。

枚方寝屋川消防組合消防職員の修学部分休業に関する条例の制定等について

職員が公務に関する能力向上のため、無給で勤務時間の一部を利用して修学できる修学部分休業制度を取り入れるため、「枚方寝屋川消防組合消

防職員の修学部分休業に関する条例制定について」が提出されました。

その他にも、令和７年人事院勧告及び構成市の改正に準じ、自動車等の通勤手当について、新たな通勤距離区分及び駐車場等の利用に対する手当を設けるほか、給料月額を改定する「枚方寝屋川消防組合消防職員給与条例の一部改正について」、屋外に設置される消費熱量が小さなサウナ設備について、その特性に応じた分類を行うとともに、住宅における出火防止対策として感震ブレーカーの設置促進を追加することを内容とする「枚方寝屋川消防組合火災予防条例の一部改正について」が提出され、いずれも原案通り可決されました。

一般質問
『救急現場における人生の最終段階にあり心肺蘇生等を望まない方への対応について』



連合市民の会
枚方市議会議員団
奥野　美佳　議員

質　問（１回目）

令和８年４月１日から「人生の最終段階にあり心肺蘇生等を望まない心肺停止傷病者への救急隊の標準的活動要領」を本格運用するにあたり、救急現場において救急隊の負担軽減についてどのような効果を見込んでいるのか、また、現場をどのように支えていくのか伺う。また、本要領の運用が救急医療体制に与える影響についてどのように認識しているのかについても伺う。

答　弁

本要領を運用することにより、現場での手順が明確になり、救急隊員が現場でかかりつけ医に確認をとることで、人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない方を搬送するかどうかで迷うことなく活動することができると考える。そして、これまで以上に医療機関や高齢介護福祉施設等の関係機関と情報共有することで、救急隊が活動しやすい環境をつくり、安心して現場活動に臨むことができるよう努めていきたい。

また、本要領を適用した救急事案については事後に検証を実施している。その結果のフィードバックや助言を行い、救急隊員の精神的な負担軽減を図っていく。

本要領の運用に伴う医療機関への影響については、現場にて蘇生を望まない意思表示があった場合、かかりつけ医の確認がとれるまでの許容される時間は 10 分以内としている。また、本要領に該当しない方は、通常の救急対応となるため医療機関側への影響は無いと考える。

質　問（２回目）

本要領の運用にあたり、消防として多職種とどのように関与していくのか伺う、ACP 人生会議や人生の最終段階にあり蘇生を望まない方の意思表示を尊重するため、構成市とどのように連携していくのかについても、見解を伺う。

答　弁

本要領の試行運用時から医師会主催の市民フォーラムや地域包括ケアシステムに関与する職種が集う講演会に積極的に参加し、本要領の広報活動を実施してきた。引き続き、ACP を有効に実施するため、人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない方が誤って救急車を要請しないよう普及啓発に努める。

要　望

市議会において、自宅や施設で穏やかな最期を迎えたいと願っていても、救急搬送されることで望まない治療につながる可能性があるという課題を指摘し、ACP、人生会議の重要性を提起してきた。

さらに 2019 年には、本組合議会において、「救急現場での標準的対応ルールの必要性」「在宅医療や介護との連携」「地域包括ケアの中での消防の参画」を要望した。

今回の活動要領の本格運用は、こうした課題に対する一つの整理ではあるが、完成された仕組みというよりも、救急搬送側の実情に応じた現実的な整理であると受け止めている。

この制度は、書面確認や医師連絡などの条件が整わなければ最終的には搬送となる。つまり、意思表示があいまいな場合は救急搬送となる構造は

変わらない。

だからこそ重要なのは、救急現場に入る前の段階である。

人生の最終段階における生き方を一人ひとりが選択し、それを家族や施設など自らを取り巻く人たちに適切に示しておくこと。そして関係者の認識が一致していること。いざという時に迷わず意思を示せること。こうした準備が整ってはじめて、この制度は機能する。

そして、その基盤を整える責任は消防だけではない。人生の最終段階における本人の意思を尊重できる地域づくり、医療・介護との連携体制の構築、市民への理解促進。これらを構成市が責任を持って整備することが不可欠です。

その上で、あいまいな場合は救急搬送となること、本人の意思を明確に示しておくことが重要であること、そして、ご本人の意思を尊重し救急要請を行わない選択もあること、こうした点について、救急側からも発信していただくことが制度の後押しになるものと考える。

一般質問
『出初式の在り方について』



日本共産党議員団
枚方市議会議員
松岡　ちひろ　議員

質　問（１回目）

今年の出初式は、これまでと異なり街中で開催をされた。

12 月 23 日開催の議会質問では、出初め式の目的は市民に消防力を披露すること、消防職団員の士気高揚を図ること、消防に対する認識と信頼を深めること、防火防災の普及を図ること、さらに今年は子どもが喜ぶ出初式をテーマに開催をしたとされた。

初めての駅前通りで出初式となりましたが、結果としては、どのような評価をしているのか伺う。

答　弁

開催場所を寝屋川市駅前大通りとしたことで、当日は過去最多の来場者を迎えることができた。観覧者の方々からは「普段は見られない消防車をたくさん見られてうれしかった」、「訓練を初めて間近に見られて楽しかった」、「次回も楽しみにしている」など多くの声をいただいた。また参加した消防団員からも「大勢の市民が手を振って応援してくれ誇らしかった」などの感想が聞かれ、出初式終了後には、出初式を見るなどしたことをきっかけに、寝屋川市消防団に新たに計９名の入団があったと聞いている。

車両行進や徒歩行進により消防力を披露すること、消防職団員の規律や訓練披露を通して消防に対する認識と信頼を深めること、車両乗車体験や各種イベントを通して防火防災の普及を図ることをテーマとして掲げ、結果、消防を大いにアピール出来たことは枚方寝屋川消防組合、寝屋川市消防団、枚方市消防団にとって大変評価できる出初式であったと認識しています。

質　問（２回目）

ただいまの答弁によりますと、目的は果たせたということのようですが、パレードには大変驚いたところである。

それぞれ消防車両や、また一般市民は歩いて行進をされておられたが、両市長がオープンカーでの行進となっていた。

一回目の質問で消防組合としての出初式の目的とテーマを述べさせて頂いたが、この目的に照らしたときに、両市長が消防車両ではなくオープンカーに乗車することについて、消防行政上の必要性や合理性があったのか、理解ができない。

なぜ、オープンカーにされたのか出初式の責任者に答弁を求めたい。

答　弁

今年の出初式については、寝屋川市駅前大通りで行う初めての試みであったことから、他市の出初式も参考にしながら入場や行進などを消防本部で企画いたしました。大阪市や堺市をはじめオープンカーでの入場を行っている消防本部があること、また、初めて行う駅前でのパレード型の出初

式のオープニングをよりインパクトのあるものとするため、オープンカーを採用したものである。

要　望

ただ今の答弁は出初式の責任者を伺ったが、消防長だということである。要望して終わりたいと思うが、オープンカーとした理由は他市を参考に、そしてインパクトを与えたかったということである。

インパクトということでは、成功されたと思う。ただ今は、特に物価高騰などで生活が苦しい方がたくさんおられる。こうした時に少しでも支出を抑えていくことを誰よりもその自治体の長は心がける必要があるのではないか。

それが目的にあっているとも言い難いオープンカーでは、「必要性に乏しい支出ではないか」との市民の声に対して、説明が難しいと感じる。
私は、せめて職員さんと同じように、消防車両に乗って頂きたかったし、或いは市民と同じ目線にたち、市民と同様に歩いて頂きたかった。

市民の理解と信頼が得られる消防行政の運営となるよう強く要望する。

一般質問
『退職者について』
『人材の流動化について』
『消防人材の確保と定着育成について』



自由民主党市会議員団
寝屋川市議会議員
北川　千尋　議員

質　問（１回目）

令和７年度は、ベテラン職員、若手職員問わず17名の定年前退職者が発生したと聞いている。

このように、離職者が多数出ている中、退職する要因は一時的なものか構造的なものかどのように分析されているのかを伺う。離職の増加は全国的な傾向なのか、それとも本消防組合特有の課題なのか。過去の推移も踏まえ、どのような変化が起き、その背景をどう分析されているのか伺う。

答　弁

本消防組合の過去３年間の退職者状況を見ると、定年退職者を除くと、平均毎年 10 数名の退職者で推移している。

さらに、3年間の退職者を年齢区分で分けると、50歳以上の職員と20代30代の職員が多く退職していることが分かる。

退職理由については、50歳以上の方は、第２の人生のキャリアを再構築したいという理由が多く、その他には家業を継ぐという理由もあった。20代30代の職員の退職理由については、自分の生まれ育った町の消防への転職や、一方で、より、やり甲斐のある仕事を求め、市役所や警察、民間企業などへの転職といった理由もあった。

他市消防本部の状況については、本消防組合と同様に若年層の離職が課題となっており、これは終身雇用の時代から転職が当たり前の時代となっている背景が原因であると考え、今しばらくは転職ブームといった時代が続くものと分析している。

質　問（２回目）

消防職員は専門性が高く、職員を一人前に育てるには、多くの時間と労力そしてコストがかかり、一人の離職が組織に与える影響は大きいと考える。

今後、どのように人材の確保、定着、育成と進めていくか伺う。離職の背景による要因を踏まえたうえで、職場環境や働き方の見直し、キャリア形成の支援など、より実効性のある取組をどのように進めていくのかについても具体的な考えを伺う。

答　弁

まず、人材の確保の取組として、令和４年度の採用試験から多様な人材を発掘できるよう社会人区分を設け、年齢要件を33歳まで引き上げ、また体力試験の内容も見直し「体力重視」から「人物重視」に方針転換し、より多くの方に受験してもらい、その中から優秀な人材を発掘するという取り組みを行っている。

次に、人材の定着及び育成については、「この職場で働き続けたい」と思える組織風土を醸成するため、年次休暇や育児休業が取得しやすい環境作りや、入職後の新人職員に対して消防の基礎を学び職員の成長を促す仕組みである新人職員育成マ

ニュアルを作成するなど、組織一丸となって人材の定着及び育成に取り組んでいる。

要　望

ただいまの御答弁は新入職員に対する定着や育成に主眼を置いたものであると受け止めた。これらの目的には非常に重要であり、引き続き丁寧に進めていただきたい。

一方で定年延長が進む中においても、一定数キャリアの長い職員の離職は今後も想定されるところであり、加えて転職が一般化している現在の社会状況を踏まえれば、これまで以上に 40 代 50 代といった中堅ベテラン層の離職についても、十分に視野を入れた対策が必要であると考える。消防職員は高度な専門性と経験が求められる職種であり、一人の離職が現場力や組織運営に与える影響は非常に大きいものがある。特に長年にわたり培われてきた知識や技術、現場対応力は一朝一夕に身につくものではなく、それらが失われることは組織にとって大きな損失であるとともに将来的な消防力の低下にも繋がり兼ねない。こうした観点から単なる時代の流れや転職志向の高まりとして受け止めるのではなく、入職された職員が長く安心して働き続け、やりがいを持って活躍できる環境づくりがより一層重要になると考える。例えばキャリアの段階に応じた研修体系の見直しや特に中堅ベテラン職員に特化した能力開発、キャリア支援の充実、定期的なフォローアップや相談体制の強化など、きめ細やかな人材育成定着政策の検討が必要ではないか。あわせてベテラン職員が有する高度な技術や経験を若手職員へ着実に継承していく仕組みづくりも今まで以上に重要であると考える。

市民の生命、身体、財産を守る消防の使命を果たし続けるためにも人材の確保と合わせて人材をいかに定着させ育てて繋いでいくかという視点を重視し、今後の政策に反映いただけるよう、強く要望する。

議決結果一覧

予算関係	令和７年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第３号）	可決
	令和８年度枚方寝屋川消防組合予算	可決
条例の制定及び改正	枚方寝屋川消防組合消防職員の修学部分休業に関する条例の制定について	可決
	枚方寝屋川消防組合消防職員給与条例の一部改正について	可決
	枚方寝屋川消防組合火災予防条例の一部改正について	可決

広報のイマを届けます

ひらね広報部！ vol. 01

新コーナー「ひらね広報部！」が始まります



総務部 企画戦略課
辰島 佑季

機関紙「纏人」編集担当の辰島です！
新コーナーの「ひらね広報部！」はひらねの広報に関する動向や、広報戦略会議での議論内容、組合SNSの運用状況や広報プロジェクトチームの活躍などなど、広報担当として今、職員の皆様にお伝えしたいことを毎号発信していければと考えております。
令和８年度から纏人は４月・７月・10月・１月の年４回の発行となりました。年間発行数は減りましたが、その分、より充実した内容の記事・コンテンツを鋭意作成してまいりますので、引き続きご覧いただきますよう、よろしくお願いいたします！

令和８年度広報戦略について

令和８年３月１９日に令和８年度広報戦略を発出しました。戦略の中身もそうですが、前文の戦略策定の背景も一年間広報担当として感じたことを踏まえて記載していますので、ぜひご一読いただけると幸いです。
今年度の具体的施策は①ホームページのリニューアル構築②Instagramを含むSNSによる発信③市民向けイベントの開催・参画④広報担当者制度・伴奏支援⑤広報PTのプロジェクト型登用⑥広報戦略会議での効果測定の６つを掲げています。

また、職員の多くの皆さんに関わるのが⑤の広報PTのプロジェクト型登用になります。
これまで年度を通じての募集を行ってきましたが、何をするのかを明確にし、単発案件で気軽に参加いただけるような募集方法といたしました。
<u>これまで「興味はあるけど１年間通しては少し大変だな...」と思っていた方も是非この機会に挑戦していただけるととても嬉しく思います。</u>
皆さまのご応募お待ちしております！！

広報媒体運用方針の策定

昨年度の広報戦略会議では主に広報体制の課題について検討しました。
その中で、「SNSに何を投稿したらよいか分からない」「投稿までの手順が多く時間がかかることがハードルに感じている」との声が多くあがったことから、それらを解決する広報媒体運用方針を策定することとしました。



これまで、「各課内で起案・決裁」→「企画戦略課での決裁」と二重決裁により時間がかかっていたホームページや各種SNSへの投稿をタイムリーに行えるよう改善しました。
また、各媒体の使い分けをSNSマーケティングの書籍などを参考にしながら方針に示したほか、SNS特有の炎上対策や権利侵害などの注意点も記載しています。ぜひこの機会にご確認ください!!

公式Instagram、はじめました。

以前より職員や市民の皆様から多くのご要望の声を受けていた公式Instagramを、令和８年４月から運用を開始しました。

HIRAKATANEYAGAWAFD

現在、少子高齢化の加速や採用の売り手市場が続いており、将来の担い手を確保することは当組合も例外ではなく、最重要課題として取り組んでいく必要があります。
本アカウントでは、子どもたちや親世代をターゲットに、枚方寝屋川消防組合ならではの魅力や職場の雰囲気を写真とリール動画、キャプション（説明欄）で発信していきます。
投稿を通して「かっこいい」「ここで働きたい」という共感の輪を広げ、組織の未来をつくるブランディングを展開してまいります。

<u>今年度の目標</u>として**<u>フォロー数10,000人</u>**を目指しています。
どうか、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

各種イベントなどで
アカウントフォローのＰＲに
ご協力お願いします!!